

相談・交流部門目次

- 1 相談・交流の基本的な考え方
- 2 相談業務
 - 1) 相談・交流部門の人員体制
 - 2) 相談の場所と時間帯
 - 3) 相談状況
 - ① 身分別相談状況
 - ② 内容別相談状況
 - i 研究・学習
 - ii 就職・アルバイト
 - iii 奨学金・授業料
 - iv 生活一般
 - v 入学・進学
 - vi 交流活動
 - vii ビザ・在留
 - viii 事件・事故
 - ix その他 留学生以外の相談
 - 4) 相談業務における課題
 - 5) 就職支援
 - ① 支援の考え方
 - ② 就職実績
 - ③ 留学生センターラウンジにおける留学生向け個別会社説明会
 - ④ 就職支援室との連携
 - ⑤ 就職支援における課題
 - 6) 留学生支援会
 - ① 支援会発足の経緯
 - ② 支援実績
 - ③ 留学生支援会の課題
 - 7) 日本人学生の海外留学支援
 - ① 人員体制
 - ② 相談状況
 - ③ 情報提供
 - i 学外からの海外留学案内ポスターの掲示及び海外留学案内パンフレット等の配布
 - ii 電子メールによる海外留学情報の提供

- iii 海外留学説明会の実施
 - ④ 海外留学状況
 - i 交換留学による海外留学者数
 - ii 協定校が開催する短期研修プログラムへの派遣
 - iii 工学部・工学研究科スプリングプログラム in 上海
 - ⑤ 工学部・工学研究科「留学準備コース」
 - ⑥ 日本人学生の海外留学支援における課題
- 3 学内交流活動
- 1) 定期交流活動
 - ① 国際交流ラウンジ
 - ② ビデオショウ
 - 2) その他学内活動
 - 3) 福井大学留学生会
 - ① 設立背景と事務局構成
 - ② 福井大学留学生会の活動
 - 4) 学内交流活動の課題
- 4 地域社会との相互支援交流活動
- 1) 小学校等への一日講師派遣
 - 2) 福井県等官界とのネットワークと交流活動
 - 3) 商工会議所等産業界とのネットワークと交流活動
 - 4) 国際交流ネットワーク構築及びネットワーク誌「こころねっと」
 - 5) 福井大学留学生同窓会活動
 - ① 福井大学留学生同窓会設立の背景
 - ② 福井大学留学生同窓会設立
 - ③ 支部設立の動き
 - ④ 同窓会の活動
 - ⑤ 「スプリングプログラム in 上海」
 - 6) 福井県留学生交流推進協議会
 - 7) 課題
- 5 外部への情報発信活動
- 1) 主な発信媒体
 - 2) ネットワーク構築を支える情報登録・管理

相談・交流部門

1 相談・交流の基本的な考え方

留学生支援、特に相談業務の考え方についての基本的な視点は次の通りである。

- 1) 各種学内交流活動及び地域交流活動を通して、留学生と留学生、留学生と日本人学生、留学生と地域社会、留学生と産業界、等々のネットワークを構築し、そのネットワークを通して、学生を支援する。
- 2) 問題が発生してから対応する問題解決型の相談から、問題発生を未然に予防する、更には、自己研鑽・社会活動展開のための相談へと、その重点の移行を目指す。
- 3) 精神的な落ち込み等のケアにおいても、多くの場合、その背後にある、より具体的な問題解決なしには対処できないことに留意する。
- 4) 発生した問題解決においては、学内外の諸機関・専門家と連携して解決する。
- 5) 可能な限り授業を多く担当し、留学生との日常的な接点を構築する。

(相談担当者が持つ授業に毎学期約 100 名の受講生がいるので、在学留学生 250 名、ほぼ全員と顔が見える関係にあり、且つ、e-mail address 等を把握している)

2 相談業務

1) 相談・交流部門の人員体制

福井大学留学生センターでは相談・交流部門に中島教員 1 名が配置されている。他方、国際課には課長以下職員が 4 名、事務補佐員が 2 名いる。国際課には主に事務手続き関係の質問が行き、相談・交流担当教員の方には、より複雑な問題について、腰を据えてゆっくり相談したい場合にやってくる。

それぞれの相談に費やす時間は 1 回 30 分から 1 時間程度である。

2) 相談の場所と時間帯

いわゆる相談専用室はなく担当教員の研究室で相談を受ける。研究室には 5 人用のソファースーツがあり、寛いだ雰囲気が提供できる環境にある。相談時間帯は留学生センターホームページ (<http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/>) に掲載されている。また、研究室入口ドアには「いつでもどうぞお入りください。不在の場合のメモは上の籠にいれてください」との掲示があり、籠が用意されている。また、研究室のドアは常時開放されている。つまり、下記時間帯以外でも、授業中でない限り相談を受ける。

表1 相談の時間帯

曜日	午前	午後
月		14:00 ~ 17:00
水	9:00 ~ 12:00	
木	9:00 ~ 12:00	
金	9:00 ~ 12:00	

3) 相談状況

相談・交流担当教員の本学着任日（平成12年8月1日）以降の全相談データを記録し、身分別、内容別に分類してあるので、いつでも統計資料が作成できる状態になっている。

① 身分別相談状況

平成21年度における身分別相談状況は表2の通りである。

以下相談件数はすべて、相談・交流担当教員の研究室来訪による相談のみである。e-mailによる相談、国際課における相談等は含まれていない。

表2 平成21年度身分別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
院生	0	0	0	4	55	13	55	17	72	42.1%
学部学生	0	0	1	0	34	22	35	22	57	33.3%
研究生	0	0	6	2	19	1	25	3	28	16.4%
特別聴講生	0	0	0	6	5	3	5	9	14	8.2%
小計	0	0	7	12	113	39	120	51	171	
合計	0		19		152		171			
割合	0.0%		11.1%		88.9%					

・研究生には、特別研究学生を含む。 ・特別聴講学生には、科目等履修生を含む。

一方、平成21年10月1日現在の身分別在学留学生数は表3の通りである。

表3 平成21年10月1日現在の身別在学留学生数

(人数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
院生	5	3	3	9	63	20	71	32	103	42.2%
学部学生	0	0	2	2	54	17	56	19	75	30.7%
研究生	2	0	5	8	9	9	16	17	33	13.5%
特別聴講生	0	0	4	12	13	4	17	16	33	13.5%
小計	7	3	14	31	139	50	160	84	244	
合計	10		45		189		244			
割合	4.1%		18.4%		77.5%					

さて、表2及び表3からわかるように、在学留学生の身別別の割合が、概ねそのまま、身別相談件数の分布割合と符合している。

ただ、一般に、大学院生の場合は、母国で学部教育を受けた後来日し、半年とか1年の研究生生活を経て、院生になる学生が多いため、日本滞在期間が短く、日本語力も低い。適応力がついていないことから、相談に来訪することが多い。更に、修了者の大半が日本国内就職を目指すこと、研究の壁にぶつかることが多いこと、それらも相談件数の増加要因となっている。

他方、学部生は日本語学校を経て日本語力を身につけ日本語による留学生試験を突破し、授業もすべて日本語で受講するなど、日本語力もある上に、日本滞在経験も長く問題解決力もあるので、相談件数は少ない傾向にある。

また、大学院生や研究生の場合は、研究室に所属しているので、指導教員や研究室仲間との緊密な人間関係が構築できるが、そのような環境にない特別聴講学生は周りに相談する相手が少なく、孤立することがある。

尚、医学部・医学研究科の場合、留学生数自体が少ないこと、それに両キャンパスが地理的に離れていることから相談はほとんどない。全員が大学院生又は研究生で、研究室に所属し、指導教員や研究室の仲間の支援を受けていると思われる。尚、学内交流活動や地域交流活動には医学研究科の学生も積極的に参加している。相談・交流担当教員から交流関係情報が常時メールで配信されているからである。

② 内容別相談状況

平成21年度における内容別相談状況は表4の通りである。

表4 平成21年度内容別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
研究・学習	0	0	0	2	16	4	16	6	22	12.9%
就職・アルバイト	0	0	1	4	30	9	31	13	44	25.7%
奨学金・授業料	0	0	0	0	5	7	5	7	12	7.0%
生活一般	0	0	3	0	6	6	9	6	15	8.8%
入学・進学	0	0	0	4	21	6	21	10	31	18.1%
交流活動	0	0	2	2	19	4	21	6	27	15.8%
ビザ・在留	0	0	1	0	4	1	5	1	6	3.5%
事件・事故	0	0	0	0	12	2	12	2	14	8.2%
小計	0	0	7	12	113	39	120	51	171	
合計	0		19		152		171			
割合	0.0%		11.1%		88.9%					

平成15年度～平成21年度における内容別相談状況は下記表5の通りである。

表5 平成15-21年度の相談内容別相談状況

(相談件数)

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
研究・学習	1	0	24	40	143	79	168	119	287	19.0%
就職・アルバイト	0	0	32	70	174	80	206	150	356	23.6%
奨学金・授業料	0	0	0	12	34	24	34	36	70	4.6%
生活一般	0	0	12	13	65	41	77	54	131	8.7%
入学・進学	0	2	14	45	131	91	145	138	283	18.8%
交流活動	0	0	20	42	140	39	160	81	241	16.0%
ビザ・在留	0	0	2	7	26	9	28	16	44	2.9%
事件・事故	0	0	1	6	59	31	60	37	97	6.4%

	医学部・医学系 研究科		教育地域科学部 ・教育学研究科		工学部・工学研 究科		小計		合計	割合
	男	女	男	女	男	女	男	女		
小計	1	2	105	235	772	394	878	631	1509	
合計	3		340		1166		1509			
割合	0.2%		22.5%		77.3%					

表4及び表5から見ると、平成21年度の内容別相談件数は従来の内容別相談件数の割合とほぼ重なっている。

i 研究・学習

研究学習に関する相談は例年多いが、院生からの相談がほとんどである。研究室内の人間関係、研究テーマそのもの、学位論文執筆の壁、などがある。修士論文で悩んで相談に来る学生は皆無に近いが、博士論文の場合にはかなりの学生がノイローゼ気味になる。査読の結果が届かない、規定の論文数になっているのに指導教員が予備審査を開いてくれない、今のテーマでは論文が書けない、などである。研究テーマや指導教員を変更したいということで、関係者と協議の上、結局研究室を変更するケースもある。

近年目立っているのが、博士の学位が取れずに、失意のまま帰国するケースが増えていることである。学ぶ側だけでなく、指導する教員の方に問題点があると思われるケースもある。本国政府の奨学金を受給している場合は、大使館等とも連絡調整しながら、本人の将来設計への影響を最小限にすべく対応している。

ii 就職・アルバイト

本学留学生の国内就職者数が、2007年度30名、2008年度20名、2009年度15名となっているように、この3年間就職環境は年々厳しくなっている。エントリーシートに登録しても、なかなか面接まで行けない。面接まで行っても落ちてしまう。連戦連敗の就職戦線に行き詰まり、自信を喪失する学生も多い。そのような学生に対して、心のサポートをすることが増えた。

一方、どんなに心のサポートをしても、就職が決まらないと問題は解決しないので、留学生センターラウンジにおける個別企業会社説明会を実施したり、希望分野の会社をインターネットで一緒に検索したり、商工会議所等で講演したりして、側面から支援している。

就職に関する相談が例年相談件数のトップであるが、商工会議所、福井労働局、福井入国管理事務所との連携、特に産業界とのネットワークを通して支援している。

iii 奨学金・授業料

奨学金・授業料の相談件数が少ないのは、まず奨学金案件そのものが少ないこと、また、授業料免除は学生課が窓口であるためと思われる。ここ数年目立ってきたのが、授業料が払えずに除籍処分になって大学を去る学生が増えていることである。アルバイトもしないでんびり過ごして、納入期限の土壇場で相談に来るなど、資金計画、生活設計の習慣が身につけていないことがその主な原因である。成績も芳しくなく、授業料免除もなく、バイトもせず、という学生への対応に苦慮している。

iv 生活一般

生活一般に関する相談は少ないが、健康問題、アパート隣人とのトラブル、異国での生活による情緒不安、結婚直後に妻を残しての来日、子供を母国に残しての来日、また、逆に、日本語が出来ない妻を同伴したことによる問題、乳幼児を同伴しての単身留学来日等々、その問題発生要因は他方面にわたる。

住宅賃貸契約における保証人問題は外国人留学生支援会発足により機関保証制度が整ったため、皆無であった。

v 入学・進学

入学進学に関する相談は学内進学、学外進学、更には第三国への進学相談があり、特に最近では第三国への進学相談が増えている。相談内容は、指導教員の探し方、研究計画作成の指導、推薦状作成依頼がほとんどである。

vi 交流活動

学生の地域理解や親日感は、パーティ等に招待されることからではなく、地域の国際化への積極的貢献から生まれるとの認識から、小中学校や県内機関に留学生を一日講師として積極的に派遣している。相談内容としては、小学校等での発表方法や、準備内容等に関するものが相変わらず多いが、その他に、引き受けたいが、指導教員が厳しくて許可がもらえそうにないというものもある。指導教員が交流活動と研究活動のバランスに苦慮している面が見られる。

vii ビザ・在留

相談件数が少ないのは、各種ビザの取得・更新手続き等に関しては国際課留学生係が中心に処理して、国際課段階で解決されているからだと思われる。相談担当教員への相談案件は、家族や友人のビザ取得に関しての相談が中心である。

2008年度には南米の留学生が帰国途中に東京に滞在したまま、なかなか帰国しなかったため、フライトの再取得、帰国経由国ビザの再取得などについて現地日本国大使館とも連携しながら対応する事案もあった。

viii 事件・事故

事件事故に関する相談は全般に少ないが、その大半は交通事故案件である。被害者としてだけでなく、加害者の場合もあり、対応が難しい。いずれの場合も、国際課職員、指導教員、保険会社、警察などと緊密な連携をとりながら対処している。

留学生が郊外大型店で万引きをし、逮捕され、12日間勾留される事件が発生した。担当刑事と面談や電話での調整をしつつ、日本司法支援センター（法テラス）派遣の弁護士とも打ち合わせを重ねながら、面会、差し入れを続け、フォローした。本件は、留学生本人の将来を考慮し、且つ、他の留学生への影響を避けるべく、学内的には関係者数人のみで協議を重ね、慎重に対応した。不起訴処分となったのちは、身元引受人として定期的に本人と面談し、指導支援した。帰国した後も、本学の温かい対応に感謝のメールをもらい続けている。

ix その他 留学生以外の相談

海外から直接メールが入り、修士課程、博士課程への入学等に関する問い合わせや相談を受けることが多い。主に工学部・工学研究科に関するもので、指導教員を紹介してほしいというものである。その場合には、当該学科の留学生委員会委員に情報を転送し、学科内全教員に受入意思を確認するように依頼している。毎年このような形で2、3名が本学研究科に入学している。

4) 相談業務における課題

- ① 学生を支援するためには、幾重もの人的ネットワーク作りを更に推進することが必要がある。
- ② 留学生センターの施設が分散し、且つ、日本語教育の教室から離れた場所に、相談担当教員の研究室があるため、留学生が相談に来ても不在なことがある。相談業務を含め、センター業務全体が有機的な機能を果たすためには、センター施設の集中化が望まれる。

5) 就職支援

① 支援の考え方

社会・経済のグローバル化が進む中で、地域経済界が生き延びる、更に発展するためには、各企業の国際化は喫緊の課題である。そして、その柱となるのが、国際戦略を担う人材確保である。他方、留学生も卒業後、実務経験を身につけたい、更には、人生設計を日本の産業界に求めたいという学生が増えている。留学生センターは双方のニーズを調整しながら、留学生支援および経済界特に県内企業の国際化支援を行っている。

表6 就職支援の流れ（平成21年度の例）

2月中旬	留学生向け就職説明会実施
	内容 : 過去の就職実績・平成20年度（2008年度）の内定状況について : これからの就職活動と相談について（就職の心構え、就職ナビ登録、履歴書作成法、自己PR書の書き方、内定後の注意事項等） : 各種資料配布 「就職活動の手引き 2009年」福井大学作成 「日本で働こうとする外国人のみなさんへ」（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語版）厚生労働省作成 「ふくい企業ガイドブック 2008年」福井労働局作成 : 就職が内定している先輩の就職活動体験談 : 就職希望者リスト登録
5月	福井大学就職希望者リストを県内企業120余社に送付
6月以降随時	求人票、会社説明会等をe-mailで配信。及び個別に就職相談を受ける。
随時	留学生センターラウンジにおいて、県内企業及び中部・近畿圏の個別企業採用説明会を実施。
内定決定	中島研究室に内定決定を連絡後、在留資格変更手続き等の相談を受ける。

② 就職実績

平成21年度の留学生の国内就職実績は下記表7の通り15名（県内6名）であった。

表7 平成21年度留学生国内就職実績（就職先内定情報入手順）

	企業名	所属	国籍	企業所在地
1	東芝(株)	工学研究科情報メディア工学専攻	中国	東京都
2	ブラザー工業(株)	工学研究科機械工学専攻	中国	愛知県
3	IHI(株)	工学研究科機械工学専攻	中国	東京都
4	アイテック(株)	工学研究科物生物応用化学	中国	鯖江市
5	ビューテック(株)	工学研究科知能システム工学専攻	中国	愛知県
6	関西ペイント(株)	工学部機械工学科	マレーシア	大阪府
7	コフロック(株)	工学研究科電気電子工学専攻	中国	京都府
8	ナブテスコ(株)	工学研究科物質工学専攻分子工学	中国	東京都

	企業名	所属	国籍	企業所在地
9	平林印刷(株)	工学研究科生物応用化学専攻	中国	福井市
10	エフティアパレル(株)	工学部建築建設工学科	カンボジア	福井市
11	エフティアパレル(株)	工学部応用生物化学科交換留学生	フランス	福井市
12	(株)モーショントラスト	工学研究科電気電子工学専攻	中国	あわら市
13	独立行政法人 理化学研究所	工学研究科システム設計工学	パレスチナ	東京都
14	パナソニックエレクトロニックデバイス(株)	工学研究科知能システム工学専攻	中国	大阪府
15	中野エンジニアリング(株)	教育学研究科教科教育専攻	中国	福井市

③ 留学生センターラウンジにおける留学生向け個別会社説明会

毎年就職希望者リストを県内 120 余社に送付して就職先開拓をしているが、県内外の企業から求人関係の問い合わせがあれば、可能な限り来訪いただき、本学留学生センターラウンジに留学生を集め、個別会社説明会をお願いしている。平成 21 年度は 4 社の説明会を実施した。

④ 就職支援室との連携

本学では就職支援室が全学の就職支援活動を展開しているが、留学生関係の求人情報、就職フェア情報などは随時就職支援室から情報提供を受けている。また、就職支援室からの要請で、日本国内外を問わず、全留学生の就職先の確認作業を毎年実施している。

⑤ 就職支援における課題

- i 就職支援の最大のポイントは求人会社の確保である。平成 13 年度、14 年度、18 年度と過去 3 回「県内企業と留学生の懇談会」を開催したが、平成 19 年度より、本学留学生センターラウンジでの個別会社採用説明会に力点を移している。その呼び込みを更に推進する必要がある。
- ii 本学就職支援室との連携をさらに推進する必要がある。
- iii 県内企業採用担当者のメーリングリストの拡充が必要である。
- iv 就職後熱意をもって仕事を継続できるように、働くことの意義、動機付け教育を推進することも課題である。
- v 各国同窓会支部網を通しての母国企業への就職支援も強化する必要がある。

6) 留学生支援会

① 支援会発足の経緯

平成 18 年 9 月の教育研究評議会決議を経て福井大学外国人留学生支援会が正式に発足した。そして、毎年 4 月に「支援会設立のお知らせと会員加入のお願い」という文書を全

教職員に発信し、会員加入を呼びかけている。会費は一口1,000円（但し、留学生会員は一口500円）。

従来、留学生が賃貸住宅に入居する際には、主に指導教員が賃貸契約の保証人になっていたが、連帯債務の可能性等があり、その精神的な負担は大きかった。支援会発足に伴い機関保証制度が確立し、その重圧から開放されることになった。また、重篤な病気による帰国、入院・手術、火災、事故、事件など、多額の経費負担を伴う場合に支援できる態勢が整った。

「福井大学外国人留学生支援会会則」は巻末参照。

② 支援実績

平成21年度は、来日直後に母国にいる実弟が死亡した為、急遽帰国することになった留学生の申請により、航空券を購入する資金31万円を貸し付けたが、再来日後半年の間に返済した。

③ 留学生支援会の課題

- i 留学生数の増加に伴い、事故・事件被害者への対応、または重篤病気罹患者の支援等を賄えるだけの資金確保のために、教職員の理解と会員加入を如何に進められるかが課題である。
- ii 本会の支援対象者である留学生にも、自助意識をもってもらい、一口500円の会員として募集することになっているが、それを如何に進めるかも課題である。
- iii 更に、このような支援の必要性が発生しないような、予防活動を如何に展開できるかももっとも大きな課題である。

7) 日本人学生の海外留学支援

① 人員体制

日本人学生の海外留学を支援する専任教職員は現在配置されていないが、日本語・日本事情教育部門の教員1名が担当している。

② 相談状況

平成21年度の海外留学支援担当教員への相談件数は3件。工学部から2名、教育地域科学部から1名であった。いずれも英語圏への語学留学を希望。国際課（現・学生サービス課）への相談は特定のプログラムについて2件あった。交流相談担当教員への留学相談は工学部学部生2名。オーストラリア、米国への留学希望が1名、イギリス留学希望が1名であった。

③ 情報提供

i 学外からの海外留学案内ポスターの掲示及び海外留学案内パンフレット等の配布

国内外の各種団体から海外留学案内ポスターやパンフレット等が送付されてくるので、随時、留学生センターロビーの掲示板に貼ったり、書架に展示したりしている。また、部数に余裕があるときは、学生が自由に持ち帰れるようにしている。

ii 電子メールによる海外留学情報の提供

海外留学支援担当教員は、教育地域科学部異文化交流コースの学生を中心として、海外留学に興味を持つ学生に、随時メールで海外留学情報を発信している。また、これとは別に、国際課（現・学生サービス課留学生係）では海外留学情報メーリングリストを作成し、プログラム参加者募集、説明会開催、奨学金応募者募集等の情報を月1～2回のペースで配信している。このリストへの登録者は平成21年4月現在で、教育地域科学部29名、工学部35名、工学研究科31名、合計95名である。

iii 海外留学説明会等の実施

海外留学を希望する学生への説明会を毎年実施している。平成21年度の説明会は次のとおりである。

第1回

説明会名	平成21年度新入生オリエンテーション海外留学説明会
日時	平成21年4月9日（木）12:20～12:50
担当	海外留学支援担当教員、国際課職員、福井大学生生活協同組合
対象	本学学生で海外留学または海外経験に興味を持つ学生
参加学生数	19名
説明項目	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人学生の海外留学状況について ・海外留学の計画にあたって ・日本人学生の海外留学のための奨学金制度について ・短期留学推進制度について ・長期海外留学支援制度について ・福井大学の学術交流協定締結状況 ・公的な海外留学情報機関及び海外における安全問題に関する情報提供機関について

第2回

説明会名	平成21年度韓国東亜大学校サマーセッション説明会
日時	平成21年4月17日（金）12:30～13:30
場所	留学生センター R121 教室
担当	海外留学支援担当教員、国際課職員
対象	本学学生で韓国短期留学に興味を持つ学生

参加学生数	7名
説明項目	<p>コース内容：韓国語、韓国の政治・文化・歴史に関する講義やテコンドー等の文化体験、釜山市内・慶州でのフィールドトリップ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用 ・宿泊施設 ・前年度に派遣された学生による体験談 ・東亜大学校の交換留学生による東亜大学校や釜山市の紹介

第3回

説明会名	海外留学説明会 ～アメリカ交換留学・大学院留学～
日時	平成21年12月24日（木）15:00～16:00
場所	総合研究棟2階 総合小2講義室
担当	海外留学支援担当教員、国際課職員、福井大学生生活協同組合
対象	本学学生でアメリカ留学に興味を持つ学生
参加学生数	7名
説明項目	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人学生のアメリカ留学状況について ・海外留学の計画にあたって ・日本人学生の海外留学のための奨学金制度について ・短期留学推進制度について ・長期海外留学支援制度について ・クレムソン大学、フィンドレー大学の学生による大学紹介 ・大学院留学、交換留学体験説明 ・工学部、工学研究科スプリングプログラム in 上海について

④ 海外留学状況

i 交換留学による海外留学者数

日本人学生の交換留学による海外留学は、教育地域科学部から米国クレムソン大学へ1名、教育学研究科から米国フィンドレー大学へ1名の、合計2名である。いずれも教育地域科学部所属の交流協定校窓口教員が助言・支援を担当した。

ii 協定校が開催する短期研修プログラムへの派遣

1) 東亜大学校（韓国）夏季短期研修プログラム「KOREAN SUMMER SESSION」

派遣学生：4名（工学部2名、工学研究科2名）

期間：平成21年8月10日～8月21日（約2週間）

目的：韓国語初級コースと韓国の政治・経済、社会、文化などに関する特別講

義等により構成された、日本人学生向けのプログラムで、韓国社会についての全般的な理解を深める機会を提供することを目的とする。

備 考：プログラム参加費、宿泊費等は無料。

iii 工学部・工学研究科スプリングプログラム in 上海（本誌 94 ページ参照）

⑤ 工学部・工学研究科「留学準備コース」

工学部（事務所掌：留学生係）では、留学を希望する学生の語学学習を支援するとともに、留学中の生活情報等の提供や、留学準備に関する指導を行い、海外留学の実現を多面的に支援し、より多くの学生を海外に派遣することを目的として、「留学準備コース」を開講している。平成 21 年度の開講コースは次のとおりである。

1. 初級クラス International Exchange Class

- ・ リラックスした雰囲気の中でロールプレイ等を交えながら、海外生活に必要な日常会話能力やライティングのスキルを身につける

2. My Destination Abroad

- ・ 自分に合った留学先や留学方法、様々な国と日本の、文化的・政治的・社会的な違いを考える。留学に関するトピックを英語で話し合い、英語での情報収集能力や、会話力、プレゼンテーション能力などを身につける

3. (前期) TOEFL クラス

- ・ 英語圏の大学におけるプレゼンテーションの方法、エッセイの書き方、効率的なリーディング等大学生活に必要なアカデミックイングリッシュのスキルを身につける。

(後期) スピーキングクラス Learning to Speak English

- ・ 日常会話を重視したスピーキングクラスで、オーラルコミュニケーション力を高める。クラスの初めと終わりに実施するオーラルテストのスコアで、自分の会話力の上達が把握できる。

業 務 所 掌：留学準備コースの講師は工学研究科非常勤講師（英語担当）とする。留学準備コースの事務は留学生係にて担当する。

実 施 期 間：平成 21 年 4 月から半年間および平成 21 年 10 月から半年間

対 象 学 生：工学部および工学研究科に在籍し、海外留学や語学力アップに興味があり、意欲のある学生

開講授業数：1. 初級クラス（週に 1 コマ）

2. My Destination Abroad（週に 1 コマ）

3. (前期) TOEFL クラス

(後期) スピーキングクラス（週に 2 コマ、1 コマのみの受講も可）

実施状況：

【前期登録者数：単位（人）】

学部・研究科	初級クラス International Exchange Class	My Proffered Destination Abroad	TOEFL	計
工学部1年				
工学部2年	6			6
工学部3年			2	2
工学部4年	1	1	1	3
工学研究科博士前期1年	3		7	10
工学研究科博士前期2年				
工学研究科博士後期1年			1	1
工学研究科博士後期2年			1	1
合計	10	1	12	23

【後期登録者数：単位（人）】

学部・研究科	初級クラス Inaternational Exchange Class	My Preffered Destination Abroad	スピーキング クラス	計
工学部1年	2	2		4
工学部2年	2		2	4
工学部3年	1		3	4
工学部4年	12		2	14
工学研究科博士前期1年	2			2
工学研究科博士前期2年	1		1	2
工学研究科博士後期1年				
工学研究科博士後期2年			1	1
工学研究科博士後期3年			1	1
合計	20	2	10	32

⑥ 日本人学生の海外留学支援における課題

- i 海外留学に対するモチベーションのアップを図るための方策を関係部門と連携して、企画・実施していく体制の構築を目指す。
- ii 工学部学生を対象にして実施している「留学準備コース」の対象を拡大する。

(山中和樹)

3 学内交流活動

留学生相互の交流、日本人学生との交流のために、学内交流活動を推進している。その目的は人間関係のネットワークを通して、①留学生の精神的な安定を図ること②相互扶助の関係を構築すること③留学生および日本人学生の国際性の涵養を図ることなどである。

尚、学内交流活動は福井大学留学生会が中心となり、大学生協学生組織 SOSEN 部などと協力しながら実施している。

表 8 平成 21 年度学内交流活動実績

	月 日	活 動 報 告	人数
1	4月5日	第28回サッカー&バレーボール大会	29
2	4月8日	青山眼鏡(株)会社説明会	11
3	4月12日	第29回サッカー&バレーボール大会	32
4	4月16日	International Friendship Party	42
5	4月17日	オリエンテーション及び茶話会	100
6	4月19日	第30回サッカー&バレーボール大会	28
7	4月22日	新入生歓迎会	35
8	4月23日	第85回ビデオショー「グリーンマイル」	12
9	4月24日	アイテック(株)会社説明会	9
10	4月26日	第31回サッカー&バレーボール大会	31
11	4月30日	第85回国際交流ラウンジ「四月」	26
12	5月3日	第32回サッカー&バレーボール大会	36
13	5月7日	第86回国際交流ラウンジ「ゴールデンウィーク」	13
14	5月10日	第33回バレーボール大会	35
15	5月13日	福井大学留学生会事務局会議	5
16	5月14日	第86回ビデオショー「ラッシュアワー3」	10
17	5月16日	第34回バレーボール 第33回サッカー大会	36
18	5月16日	「企業現場で必要とされるビジネスマナー」講演会	16
19	5月21日	第87回ビデオショー「オペラ座の怪人」	10
20	5月24日	第35回バレーボール大会	40

福井大学留学生センター紀要第6号

	月 日	活 動 報 告	人数
21	5月28日	第88回ビデオ「レッドクリフ（赤壁）Ⅰ」	8
22	5月29日～31日	福井大学祭2009（文京キャンパス） 4グループ	100
23	5月31日	第36回バレーボール大会	50
24	5月31日	福井華僑華人聯誼会設立五周年式典	10
25	6月4日	第87回国際交流ラウンジ「大学祭」	14
26	6月7日	第37回バレーボール 第34回サッカー大会	30
27	6月10日	福井大学留学生会スポーツ委員会会議	9
28	6月11日	第89回ビデオ「レッドクリフ（赤壁）Ⅱ」	8
29	6月14日	第35回サッカー大会	25
30	6月18日	第88回国際交流ラウンジ「梅雨」	15
31	6月21日	第36回サッカー 第38回バレーボール大会	27
32	6月25日	第90回ビデオ「P.S. I love you」	21
33	6月27日	第5回登山「荒島岳」	8
34	6月28日	第37回サッカー 第39回バレーボール 第6回バスケットボール大会	32
35	7月2日	第89回国際交流ラウンジ「七夕」	12
36	7月5日	第40回バレーボール 第7回バスケットボール 第18回バトミントン大会（20081221起算）	34
37	7月15日	第4回ビリヤード大会	18
38	7月15日	第8回国際交流キャンプ実行委員会	15
39	7月16日	第90回国際交流ラウンジ「夏休み」	5
40	7月19日	第41回バレーボール 第8回バスケットボール 第19回バトミントン大会	21
41	7月24日	E S S 英語スピーチコンテスト審査員	20
42	8月2日	第42回バレーボール 第38回サッカー 第20回バトミントン大会	3
43	8月11、12日	第8回国際交流キャンプ	40
44	8月23日	第43回バレーボール 第39回サッカー 第21回バトミントン大会	37
45	8月26日	前期さようならパーティ	8
46	10月15日	第91回国際交流ラウンジ「夏の思い出」	26
47	10月16日	オリエンテーション	15

相談・交流部門

	月 日	活 動 報 告	人数
48	10月18日	第44回バレーボール 第22回バトミントン大会	20
49	10月21日	後期入学者歓迎会	100
50	10月22日	第91回ビデオショー「ベンジャミン・バトン―数奇な人生―」	35
51	10月25日	第45回バレーボール大会	18
52	10月27日	第1回就職説明会	12
53	10月29日	第92回国際交流ラウンジ「ハロウィーン」	7
54	11月4日	第2回就職説明会	6
55	11月5日	第93回国際交流ラウンジ「秋」	4
56	11月8日	第46回バレーボール 第40回サッカー 第23回バトミントン大会	23
57	11月12日	第92回ビデオショー「崖の上のポニョ」	9
58	11月15日	第41回サッカー大会	25
59	11月19日	第94回国際交流ラウンジ「秋」	7
60	11月22日	日本企業就職希望者支援のための日本勤務中先輩及び就職内定者との交流会	50
61	11月22日	第47回バレーボール 第9回バスケットボール 第24回バトミントン大会	27
62	11月26日	第93回ビデオショー「天空の城ラピュタ」	8
63	12月6日	第48回バレーボール 第10回バスケットボール 第25回バトミントン大会	31
64	12月6日	第42回サッカー大会	28
65	12月10日	第94回ビデオショー「千と千尋の神隠し」	5
66	12月17日	第95回国際交流ラウンジ『冬、12月』	8
67	12月20日	第49回バレーボール 第43回サッカー 第26回バトミントン大会	33
68	12月25日	福井大学留学生会忘年会	35
69	12月27日	第50回バレーボール 第11回バスケットボール 第27回バトミントン大会	24
70	1月7日	第96回国際交流ラウンジ『冬、12月』	7
71	1月10日	第51回バレーボール 第12回バスケットボール大会	25
72	1月15日	第95回ビデオショー「スラムドッグミリオネア」	7
73	1月21日	第97回国際交流ラウンジ『新年』	12
74	1月24日	第52回バレーボール 第28回バトミントン大会	23

	月 日	活 動 報 告	人数
75	2月10日	第96回ビデオショー「Taare Zameen Par」	6
76	2月16日&17日	国際交流スキー旅行	33
77	2月28日	第43回サッカー大会	31
78	3月2日	後期さようならパーティ	30
79	3月4日	留学生と教職員の交流会	100
80	3月7日	第53回バレーボール 第29回バトミントン大会	27
81	3月14日	第44回サッカー 第54回バレーボール 第30回バトミントン大会	36

1) 定期交流活動

毎週第一、第三、及び第五木曜日には国際交流ラウンジを、また、第二、第四木曜日にはビデオショーを実施している。

① 国際交流ラウンジ

案内文（和文例： 実際には和英文併記でメール配信する）

留学生及び日本人学生の皆さん	
下記の通りお話し会「第95回国際交流ラウンジ」を行います。	
英語、日本語のレベルアップに、お友達づくりに。	
ぜひ お誘い合わせの上、ご参加ください。	
日時	12月17日（木曜日）18：15-19：15 （毎月第一、第三及び第五木曜日18：15-19：15開催）
場所	留学生センターラウンジ
参加者	留学生及び日本人学生
内容	前半30分英語、後半30分は日本語によるグループ自由会話 （飲み物、お菓子付）
話題	『冬、12月』
参加費	無料
主催	福井大学留学生会 福井大学生協SOSEN部

② ビデオショー

案内文（和文例： 実際には和英併記でメール配信する）

留学生、及び日本人学生の皆さん、

下記のとおり、第95回ビデオショーをします。

お誘い合わせのうえ、おいでください。

日時 2010年1月15日（木曜日） 18:15-20:30

題名 「スラムドッグミリオネア」
（本編英語、日本語字幕付き） <http://saludo.gaga.ne.jp/>

場所 留学生センターラウンジ

料金 無料（コーヒー、お菓子付き）

** いい映画の推薦をぜひお願いします。

（内外、どこの国の映画でも）

Fady Alnajjar,

Secreratry,

University of Fukui International Student Association (UFISA)

2) その他学内活動

その他の主な活動としては、福井大学留学生会主催による、国際交流キャンプ（1泊2日、越前海岸での水泳、国見岳でのキャンプ。40名参加）、及び国際交流スキー旅行（1泊2日、福井大学六呂師山荘宿泊、33名参加）がある。両行事とも参加費3500円であるが、申込み初日で定員オーバーとなる人気行事である。その他に、サッカー、バレーボール、バスケットボール、ビリヤードなどのスポーツ大会、歓送迎会、忘年会などを実施している。特に平成20年度から福井大学留学生事務局の種目別スポーツ委員会が編成され、毎週日曜日午後15:00-19:00に本学体育館を予約して、スポーツ種目の月間予定表に従って実施しているが、毎回30名前後が参加している。

3) 福井大学留学生会

① 設立背景と事務局構成

平成15年11月に福井大学留学生同窓会が発足したが、それを機に、その同窓会事務局の提案により、福井大学留学生会が平成16年4月に発足した。その目的は、留学生相互の交流と相互扶助、日本人学生および地域社会との交流である。福井大学留学生会の会長は福井大学中国人留学生学友会長が務めることになっているが、毎学期開始時に、各種行事毎の実行委員会が編成され、実行委員会を中心に行事を企画運営している。

② 福井大学留学生会の活動

福井大学生協学生組織である SOSEN 部などと協力しながら、「国際交流ラウンジ」、「ビデオショウ」、歓送迎会、国際交流キャンプ、国際交流スキー旅行、各種スポーツ大会などを実施している。また、地域社会との交流活動としては、県内国際交流団体が主催する行事に積極的に参加している。また、地震・津波など災害救援のための募金活動なども行っている。平成 20 年 5 月に発生した中国四川大地震においても、被災者支援のために福井大学留学生会が中心となり、5 月 17 日と 18 日の両日 JR 福井駅前等で募金活動を行った。また、従来の協力関係から若狭町観光協会、越前町国際交流協会等からも支援金をいただき、福井大学中国人学友会を通して、総額 200 万円の支援金を届けた。

4) 学内交流活動の課題

- ① 相談・交流担当教員は日本人学生との接点がないので、e-mail 網等の構築が難しい。
現在は、各種活動に参加する学生から個別に情報を収集しネットワークを構築している。
- ② 留学生の大半は私費留学生であり、生計維持のためにアルバイトをしなければならず、実験やレポートなど課題が多く、時間が取れないため、参加したくても参加できない学生が多い。
- ③ 他方、留学生個人が様々な活動に参加できないと、相談・交流担当者との接触が薄くなり、徐々に顔が見えなくなる。そして、ある日突然大きな問題を抱えて相談に来ることになる。
- ④ 従って、各種交流活動に参加しなくても、常に、目の届くような体制構築が課題である。
- ⑤ 学内外の交流活動に参加するあまり研究が疎かにならないかと懸念する指導教員もいるので、それも考慮する必要がある。

4 地域社会との相互支援交流活動

1) 小学校等への一日講師派遣

地域社会は温かく留学生を迎え、受入れ、支援してくれている。留学生も地域の国際化のために、何かをし、喜んでもらう。その満足感、達成感、充実感こそが自己の存在意義、社会貢献の証しとして懐かしい思い出となる。ギブ&テイクのベクトルは常に双方向の満足感を伴うが、ギブによる思い出こそが知日派、親日派を育てると認識している。その認識から、小中学校の総合学習、企業への通訳・語学講師派遣など、地域社会の国際化支援活動を展開している。

留学生センターとしての留学生派遣状況は平成 14 年度(25 件)から全て記録してあるが、21 年度の派遣実績は 56 件となっている。

尚、これらの件数はあくまでも、相談・交流担当教員が直接介在して派遣したもので、地域社会と関係が重層に構築される中で、留学生センターを通さず、留学生が直接、地域各交

流協会の語学講座講師や文化教室講師、また公民館や幼稚園の活動等に参加している例も多い。

派遣の流れと、派遣実績は表 9 及び表 10 の通りである。

表 9 留学生派遣の流れ

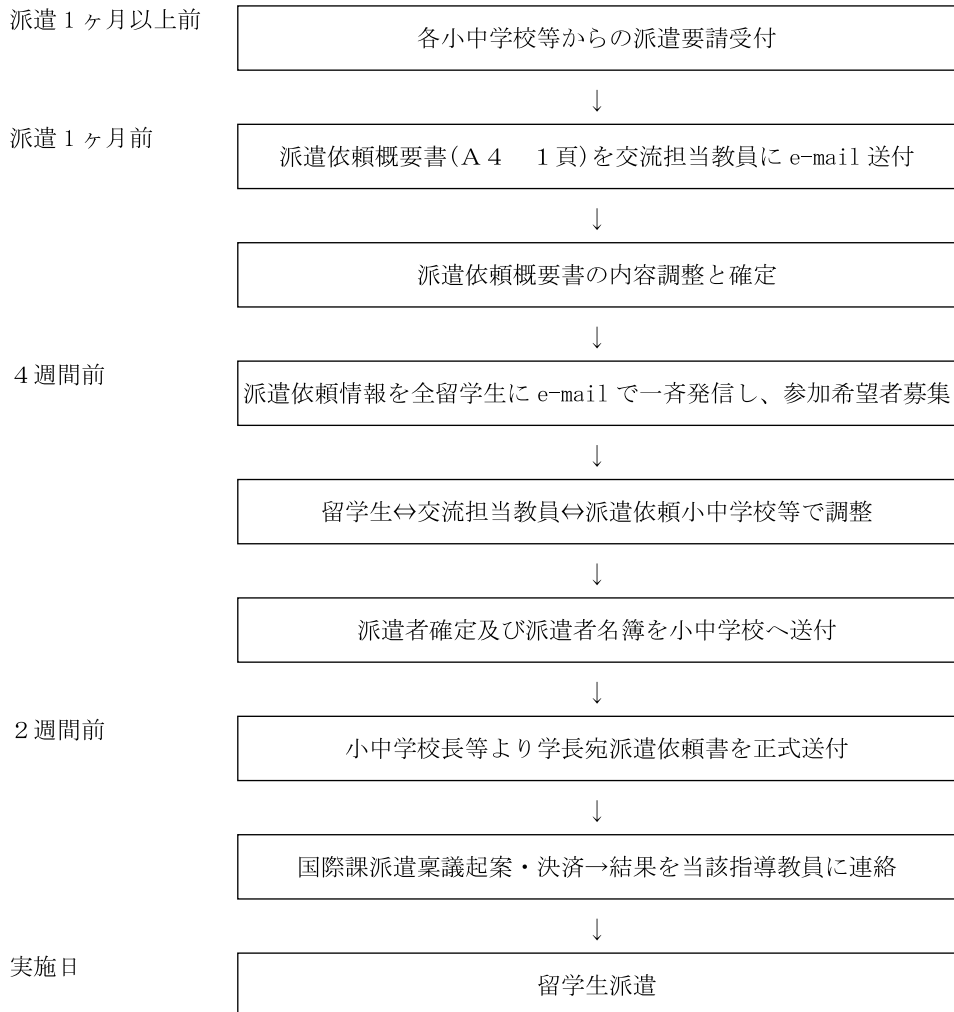


表 10 平成 21 年度の留学生派遣実績

	月 日	派 遣 項 目	人数
1	5月14日	松本小学校5, 6年生英語活動(月1回、1回2時間、1年間)	1
2	5月17日	ふくい市民国際交流協会「福井発見! ツアー」	6
3	5月20日	インターナショナルクラブ「三国祭り」の山車引き	5
4	5月23日	インターナショナルさかい外国文化紹介の集い(フィリピン共和国&ウガンダ共和国)	2
5	6月2日	ふくい市民国際交流協会: さつき児童館「中国からこんにちは」	1
6	6月18日	啓蒙小学校4年「ワンダフル日本の遊び」の発表を聞いて、一緒に楽しむ	3
7	6月20日	福井県国際交流協会「留学生と県民のための交流会」	6
8	6月27日	インターナショナルさかい「The 2nd International Barbecue Party」	7
9	6月27日	福井県国際交流協会「留学生と県民のためのバスツアー」	6
10	7月4日	啓蒙小学校 国際交流集会	18
11	7月4日	和田公民館(ふくい市民国際交流協会) 「少年学級」(料理を作りながら文化紹介)	1
12	7月24日	大学生協「留学生支援かき氷」	3
13	7月24日	E S S 英語スピーチコンテスト審査員	3
14	8月4日	社南公民館「インドの文化紹介、ゲームなど」	1
15	8月19日	円山公民館「外国文化に触れよう(ベトナムの言葉や文化紹介、ゲームなど)」	1
16	8月23日	福井県国際交流協会「浴衣で養浩館庭園を歩こう!」	6
17	8月24日	敦賀「原子力」夏の大学英語討論会(福井大学、(独)日本原子力研究開発機構、(財)若狭湾エネルギー研究センター)	3
18	9月2日	附属中学校学校祭「世界の歯の衛生、文化」インタビュー	15
19	9月20日	附属中学校学校祭「世界の歯の衛生、文化」アンケート	60
20	9月27日	インターナショナルさかい「市民とのボウリング交歓会」	5
21	10月1日	中央公民館「世界雑学講座」ギニアの国や文化の紹介	1
22	10月6日	科学技術高校第36回学校祭「異文化交流」	3
23	10月10日	福井市民国際交流協会「インドお菓子作り」講座 幾久地区地域公民館	1
24	10月21日	社南小学校「世界のみなさん、こんにちは」	3
25	10月24日	世界の文化紹介講座(福井県国際交流協会)	1
26	11月3日	福井市民国際交流協会『福井市環境展』: 自国での環境への取り組みについての討論会	3
27	11月4日	本郷公民館「本郷フェスティバルにて、母国の紹介および料理披露」	3

相談・交流部門

	月 日	派 遣 項 目	人数
28	11月6日	済生会病院インドネシア看護士研修生フォロー	1
29	11月8日	福井国際フェスティバル 「APECファッションショー」他	35
30	11月8日	越前町国際交流フェスティバル	10
31	11月14日	福井市民国際交流協会異文化理解促進事業 第3回「天ぶらを作ろう！」	3
32	11月18日	湊小学校国際交流集会「ファンタスティックフェスティバル」	3
33	11月21日	日本赤十字社福井県支部「高校生国際交流のつどい」	6
34	11月26日	さつき児童館 「インドの国や文化の紹介、ヨガ体験」	1
35	12月5日	インターナショナルさかい「チャリティ世界文化紹介の集い」	1
36	12月9日	湊小学校インターナショナルDAY	1
37	12月11日	乗泉寺「高齢者への自国、生活習慣や文化の紹介」 ふくい国際交流協会	1
38	12月29日	インターナショナルクラブ餅つき大会	5
39	1月20日	日本APECカウントダウンボード除幕式	5
40	1月21日	藤島高校の1年生SSH「研究基礎」「他文明から見た日本」	1
41	1月22日	福井市酒生小学校 「バングラディッシュの文化紹介、調理実習等」	2
42	1月28日	社南小学校3年生 ハローワールド	3
43	1月30日	福井市国際交流協会 「節分」	10
44	2月10日	APECジュニアフォーラム事前学習交際交流講座 敦賀市西浦中学校	1
45	2月12日	福井県立武生高校 Exchange Event at Takefu High School	17
46	2月12日	APECジュニアフォーラム事前学習交際交流講座 坂井市坂井中学校	1
47	2月15日	APECジュニアフォーラム事前学習交際交流講座 鯖江市中央中学校	1
48	2月17日	APECジュニアフォーラム事前学習交際交流講座 永平寺町上志比中学校	1
49	2月18日	APECジュニアフォーラム事前学習交際交流講座 若狭町上中中学校	1
50	2月19日	APECジュニアフォーラム事前学習交際交流講座 福井市明倫中学校	1
51	2月19日	APECジュニアフォーラム事前学習交際交流講座 大野市上庄中学校	1
52	2月19日	APECジュニアフォーラム事前学習交際交流講座 越前市武生第二中学校	1
53	2月21日	福井県 AALA「新春の集い」	4
54	2月27日	さざんか児童館 「母国インド紹介、ヨガ体験」	1
55	3月12日	福井県環境・エネルギー懇話会「エネルギー関連施設等見学会」各国総領事随行	7

	月 日	派 遣 項 目	人数
56	3月20日	福井市国際交流協会 森田公民館 「中国紹介」	1

2) 福井県等官界とのネットワークと交流活動

福井県、特に産業労働部国際・マーケット戦略課、福井県国際交流協会、同嶺南センター、各市町村の国際交流協会との交流活動を随時実施している。

① 福井県との連携活動

i 「海外観光客誘致のための福井県の観光地等に関するアンケート調査」への協力

アンケート実施時期 平成21年7月

アンケート対象 帰国&在日卒業生、在学留学生

アンケート方法 アンケート用紙(和英中文)をe-mailで一斉発信。

回答者数 110名(卒業生54名、在学学生66名)

県側連携部署 福井県観光営業部国際・マーケット戦略課

ii 「スプリングプログラム in 上海」を共同事業として実施

本学日本人学生の国際性涵養をはかるため、大学院入学前導入教育として、平成20年度に続き21年度も実施した。2週目は中島清相談・交流担当教員が企画・運営を担当し、全期間上海に出張し調整に当たった。本講座の履修科目は「工学研究科共通科目」として単位認定される。今後も毎年継続実施する予定である。

(21年度の例)

講座開設期間 平成22年3月7日から21日まで2週間

講座開設場所 上海理工大学(中国、上海市)、宿泊先も同大学ゲストハウス

参加者 福井大学工学部4年生12名

内容 1週目 「中国語・中国文化」「工学関係の講義」

2週目 「海外企業経営・技術論」及び「海外インターンシップ」

講師 1週目 上海理工大学講師

2週目 福井県上海事務所長、現地進出福井県企業経営者

及び福井大学留学生同窓会上海支部会員(会社経営者)

共同事業者 福井大学、上海理工大学、福井県、福井大学留学生同窓会上海支部

県側連携部署 福井県観光営業部国際・マーケット戦略課、及び福井県上海事務所

3) 商工会議所等産業界とのネットワークと交流活動

社会・経済のグローバル化が進む中で、地域経済界が生き延びる、更に発展するためには、各企業の国際化は喫緊の課題である。そして、その柱となるのが、国際戦略を担う人材確保である。

他方、留学生も卒業後、実務経験を身につけたい、更には、人生設計を日本の産業界に求

めたいという学生が増えている。日本社会が抱える少子化、そして、世界的な人的移動と人材確保競争の中で、留学生センターとしては、地域国際化支援の核として、地域産業界への人材供給と留学生の就職支援を目的に、平成13年、14年、18年に「県内企業と留学生の交流会」を実施した。その結果、留学生の国内就職者は、平成13年度8名（県内4名）以降、14年度6名（同2名）、15年度16名（同9名）、16年度23名（同9名）、17年度9名（同4名）、18年度は26名（同7名）、そして、19年度は30名（同11名）と着実に増加していたが、20年度は20名（県内8名）、平成21年度15名と減少している。

昨今の経済情勢から就職環境は厳しくなりつつあり、今後も商工会議所、JETRO等と連携しながら、留学生の国内就職を推進していきたい。

4) 国際交流ネットワーク構築及びネットワーク誌「こころねっと」

卒業留学生、在学留学生、教職員、日本人学生、地域産官学民各界とのネットワーク構築のためにネットワーク誌「こころねっと」を平成13年秋号以降毎年発行している。平成21年度も第10号2,500部を発行した。「こころねっと」の概要は下記の通り。

表11 「こころねっと」概要

発行部数	2,500部
体裁	A5版、46ページ、カラー印刷
配布先	卒業留学生、在学留学生、本学教職員学生、地域国際交流機関・個人、県下全小中高校、各大学留学生センター、他
編集	在学留学生中心の編集委員会（約10名）
内容	在学・卒業留学生投稿記事2/3、センター行事等1/3が目安。行事感想、生活・旅行・映画・読書等体験、各国文化・社会紹介、各国挨拶紹介、各国料理紹介、帰国留学生からのメッセージ

5) 福井大学留学生同窓会活動

① 福井大学留学生同窓会設立の背景

昭和45年に福井大学第1号留学生Lim Kim Teck氏が工学部繊維染料学科に入学して以来、約1,400名の留学生が福井大学で学び、約800名が帰国し、約150名が卒業後日本国内に就職して勤務中である。平成13年秋のネットワーク誌「こころねっと」創刊に当たり、帰国留学生全員の住所ラベルを作成し、冊子を送付した。その中に、「福井大学留学生同窓会登録用紙」を同封したところ、多数の返信があった。そこが設立の出発点である。

② 福井大学留学生同窓会設立

文部科学省より特別配分予算を受け、平成15年11月30日に「第1回福井大学留学生同窓会大会」を開催。招聘した帰国留学生13名及び在学留学生計91名が参加し、同窓会設

立宣言文を採択した。そして、劉丁会長以下事務局を選任した。

③ 支部設立の動き

平成16年12月マレーシアのクアラルンプールで「福井大学留学同窓会マレーシア支部設立大会」が開催され、支部設立宣言文の採択と事務局選出が行なわれた。その後、タイ、インドネシア、韓国、西安、上海、杭州、台湾、北京、ハンブルク支部が設立され、平成20年11月には日本国内支部、そして、平成21年12月にはバングラデシュ支部設立された。現在12支部が活動を展開している。

④ 同窓会の活動

同窓会の活動としては、①支部会員相互の情報交換、交流や連携活動 ②他国支部との情報交換、交流や連携活動 ③福井大学を含む福井県産官学民との交流 ④各国と日本の経済・文化交流などがある。

⑤ 「スプリングプログラム in 上海」

4-2) - ii で記載したとおり、平成20年度に続き、21年度にも実施した。今後も継続実施の予定である。このプログラムは上海理工大学、留学生同窓会上海支部、福井県（特にその上海事務所）、及び現地進出福井県企業、4者との共同事業であり同会活動のモデル事業と位置付けている。受講科目は工学研究科博士前期課程入学後、履修科目として単位認定される。また、本プログラムの最終日には関係者への感謝を込めて、上海理工大学の食堂で交流会を実施しているが、福井大学留学生同窓会上海支部会員も毎年15名ぐらいが合流している。

6) 福井県留学生交流推進協議会

県内産官学民の計30団体機関が会員となり、「福井県における留学生の円滑な受入れの促進及び留学生と地域住民との交流活動を推進する」ことを目的として活動しているが、留学生センターからは、センター長及び相談・交流担当教員がその運営委員会委員として参画している。また、福井大学国際課がその事務局となっている。

その主な活動としては、「留学生救済援助金」による国民健康保険料助成、情報交換などである。また、毎年、「福井県留学生だより」を国際課が編集し、発行している。センターの諸活動についてもそこに掲載し地域に発信している。

7) 課題

① 地域社会相互支援活動と教育・研究活動のバランス

留学生の本分は学習・研究等であるため、交流活動によってそれが阻害されてはならない。交流活動に熱中し過ぎて研究論文作成が疎かになっているという苦情を時折指導教員

よりいただく。その意味で、募集においてはあくまで学生個々に直接依頼せず、一斉メールで募集し、派遣稟議決済後その写しを指導教員に回付することになっている。

又、留学生は遠方の派遣先に自転車で向かうことが多いことから、事故等に備えて派遣先に一日傷害保険をかけるよう依頼徹底している。

実験などに追われる留学生は交流活動に参加する余裕がなく、小学校等からの要請に沿う留学生を確保するのはなかなか難しい。従って、余り積極的な派遣活動を展開することは出来ず、そのバランスが大切である。

② 同窓会各国支部網の活用

同窓会各国支部網、ネットワーク誌「こころねっと」を通したネットワーク、帰国及び在日卒業生の住所や e-mail アドレス網は本学、及び地域社会の国際化戦略における重要なインフラと考えている。小規模大学が海外事務所を持つことは難しいが、同意総会支部には本学の海外支部としての役割を期待し、それを既にお願している。

③ 今後の活動方向

- ・ 同窓会及び在学生在が連携して、地域社会の国際化に貢献できるような活動の模索が必要である。上海支部及び西安支部が編成し来訪したミッション型交流もそのプロトタイプであると言えるが、ミッション型交流をいかに継続実施できるかも課題である。
- ・ 本学教員が各国支部と協力して、現地で産官学民の参加者を集めて、シンポジウムや講演会を実施し、その中から国際共同研究のシーズを発掘し、更にそれに県内企業を巻き込む活動も望まれる。
- ・ 同窓会支部網の活性化と、活動内容に関する情報交換のために、福井大学同窓会世界大会の開催も望まれるが、その予算確保も課題である。

5 外部への情報発信活動

1) 主な発信媒体

留学生センターの情報発信媒体としては、「留学生センターホームページ <http://ryugaku.isc.u-fukui.ac.jp/>」がその中心的な役割を果たしている。その他の発信媒体としては、「福井大学留学生センター紀要」「センターニュース」、ネットワーク誌「こころねっと」、などがある。

2) ネットワーク構築を支える情報登録・管理

学内及び地域、そして国際的なネットワークを構築して活動を展開しているが、その基盤となるのが、住所及びメールアドレスの登録と管理である。

登録状況は下記のとおりである。

ネットワーク誌「こころねっと」発送等のための登録住所（ラベル打出用）

福井大学留学生センター紀要第6号

帰国及び在日卒業留学生	1,013 件
県内小中高、企業、機関等	705 件
合計	1,718 件

情報発信、交流促進のためのメールアドレス（携帯等重複）

帰国留学生	625 件
在日留学生	213 件
在学留学生（携帯等重複）	273 件
その他	568 件
合計	1,679 件